

野市総合公園の区域



野市総合公園※1のあゆみ

- ・S61年 都市計画決定 (59.7ha)
- ・H 3年 「のいち動物公園」**一次開園 (9.3ha)**
- ・H 7年 ジャングルミュージアム等オープン
- ・H 9年 「のいち動物公園」**二次開園 (16.3ha)**
アフリカ・オーストラリアゾーンオープン、キリン展示
- ・H12年 「のいち動物公園」**拡張 (19.9ha)**
自然体験ゾーンオープン
- ・H13年 開園10周年 (累計**208万人**)
- ・H23年 開園20周年 (累計**359万人**)
動物科学館リニューアル
プチハイエナ・ハシビロコウ展示
- ・R 3年 開園30周年 (累計**523万人**)
ちびっこ噴水設置、ヤブイヌ展示



※1 総合公園：主として一の市町村の区域内に居住する者の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で、おおむね10ha以上のものをいう。

基本計画(S61)におけるゾーニング及び整備予定施設

		開設状況				整備内容	
		計画(ha)	供用(ha)	供用率	開設年		
自然動物園ゾーン	一次開園	9.3	9.3	100%	平成3年	動物公園	・ピクニック広場 ・子供動物園 ・動物科学館 など
	二次開園	7.0	7.0	100%	平成9年	管理ゾーン	・管理事務所 ・駐車場 ・動物病院 ・調整池 など
自然体験ゾーン		7.9	3.6	46%	平成12年	・野鳥の森、昆虫の森、花木の森、キノコの森、山菜の森	
ファミリーレジャーゾーン		35.5	0	0%	—	・展望広場 ・グラススキー ・ソリ遊び場 ・フルーツの森 ・野外レスト広場 ・園内移動システム(リフト) ・三宝山山頂の季節レストラン ・遊園地 ・スカイライン	
合計		59.7	19.9	33%	—	—	

「のいち動物公園」の理念

- 「人も動物もいきいきとした動物公園」を目指して、動物の生息環境を再現したバイオーム※1展示とし、人が動物や植物とじかにふれ合い、自然の大切さや生命の尊さを学習する自然（環境）教育の場とするとともに日帰りレクリエーションの拠点とする。

園内のゾーニング



※1バイオーム：主として気候によって分けられた生態系に含まれる生物集団。生物群系。

➤ 温帯の森

ヨーロッパから東アジア、南北アメリカなど、四季の移り変わりがはっきりした地域に生息する動物を展示。（カリフォルニアアシカ・アメリカビーバー・レッサーパンダ・カワウソなど）

➤ 熱帯の森

赤道周辺の1年を通して気温が高く雨の多い地域で、主に東南アジア、アフリカ、中南米に生息する動物を展示。（チンパンジー・ワオキツネザル・シロテテナガザルなど）

➤ アフリカ・オーストラリアゾーン

三宝山を背景にした広大なサバンナ大展示場では、のんびり草などを食べて過ごすキリンやシマウマを展望デッキや休憩所などいろんな場所から観覧できる。（アミメキリン・ハシビロコウ・マンドリルなど）

➤ ジャングルミュージアム

地上2階地下1階の国内最大級の熱帯雨林館で、樹上や地上の鳥類・哺乳類から水中の爬虫類・魚類まで、中南米と東南アジアの個性的な動物たちを展示。（ミナミコアリクイ・フタユビナマケモノ・ヤブイヌ・マレーグマ・ビントロングなど）

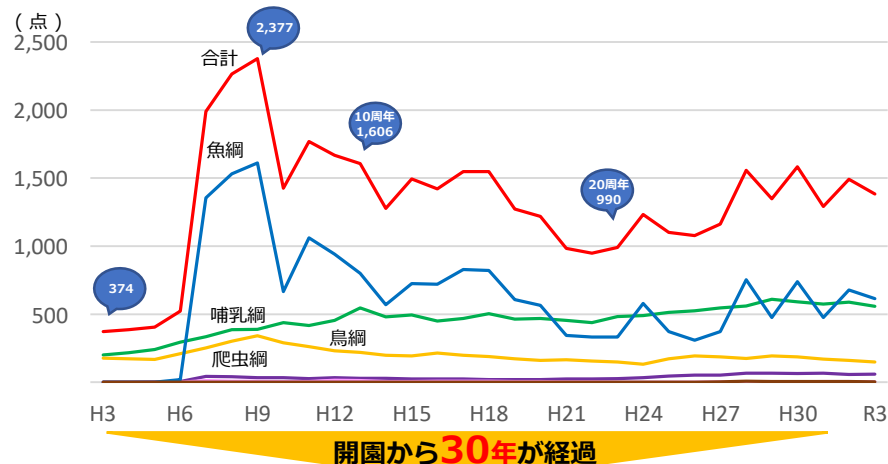
➤ こども動物園

プレーリードッグの展示場は地下トンネルをくぐり、ドームの中から顔を出すと、同じ目の高さでかわいい仕草をのぞくことができ、ペンギン展示場では、室内展示のジェントウペンギンが、ガラス越しにグイグイ泳ぐ迫力満点の姿が見える。

飼育動物の分類別点数

(令和4年3月31日現在)

区分	目	科	種	点数
哺乳綱	10	24	32	558
鳥綱	9	10	16	148
爬虫綱	3	11	17	59
両生綱	1	1	1	1
魚綱	8	16	29	615
クエ綱	1	1	1	2
合計	32	63	96	1,383

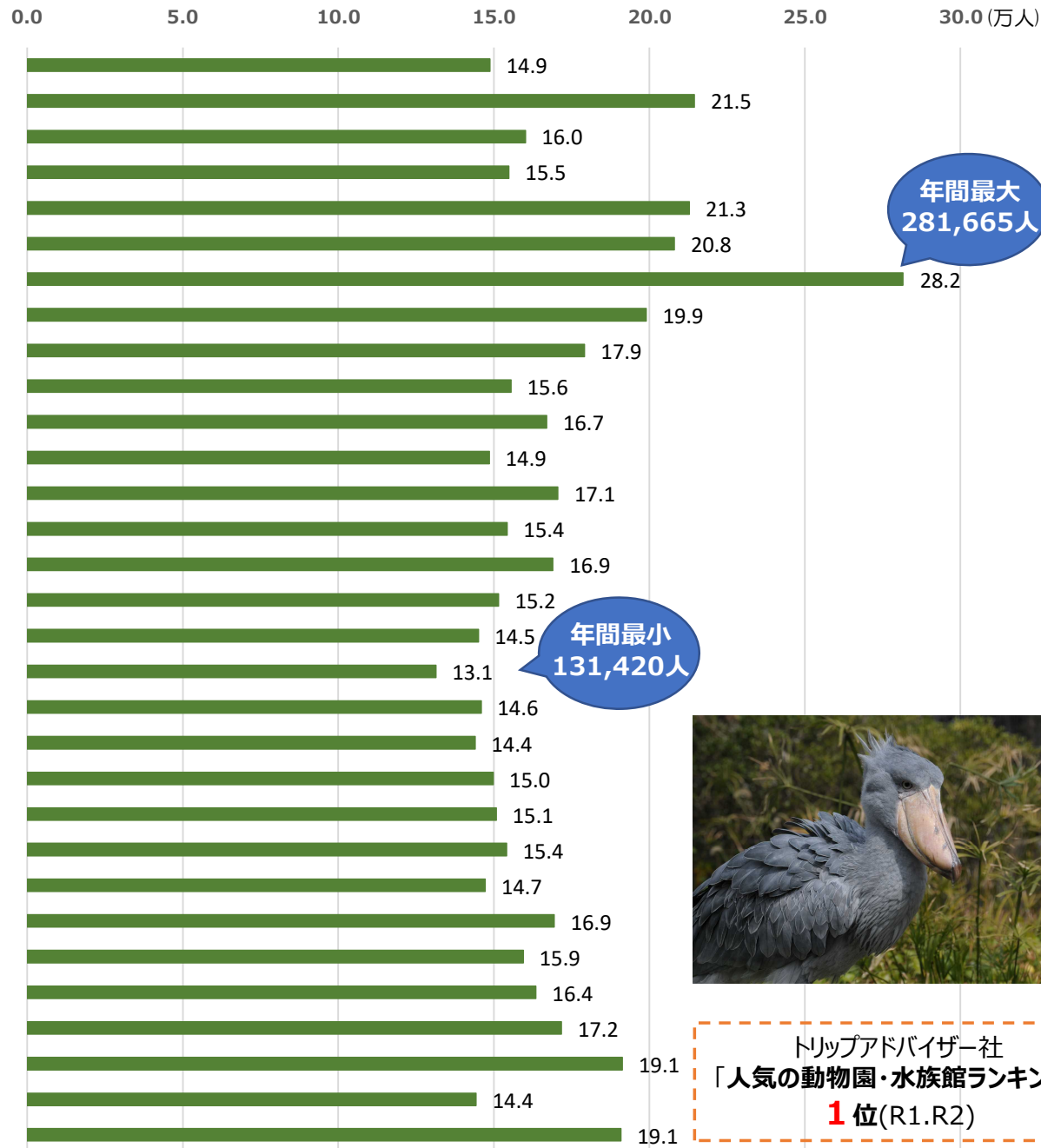


明らかとなってきた課題

- 飼育動物の高齢化等に伴う**繁殖計画の見直し**や、将来の導入方針として「**のいち動物公園コレクションプラン**」の策定が必要
- 最新の**動物福祉に基づく国際的な展示のあり方**に対応した獣舎等の改修や**公園施設長寿命化計画**に基づく**計画的な施設改修**の必要性
- ゾーニングエリア毎の**自然環境**や**特色ある植栽の維持管理**の必要性
- 多様な背景を持った入園者が楽しめる**公園づくり**や、未来志向の**安定的な管理運営体制**を検討する必要性
- 野市総合公園全体の現状を踏まえた**整備未着手の区域**における、「**学びと憩いの場**」としての**今後の公園整備の方針**を策定する必要性

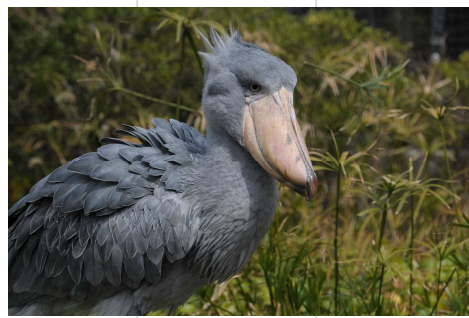
のいち動物公園の入園者数の推移について

年度	備 考
H3	1次開園 (H3.11.3) 温帯の森, 熱帯の森, こども動物園, 動物科学館
H4	
H5	
H6	のいち動物公園友の会発足
H7	ジャングルミュージアム開館 (H7.7.22) 18才未満及び高校生無料化
H8	入園者累計100万人達成 (H9.9.25)
H9	2次開園 (H9.7.19) アフリカ・オーストラリアゾーン
H10	高知豪雨被害
H11	
H12	
H13	開園10周年 入園者累計200万人達成 (H13.9.30)
H14	
H15	夜の動物公園開始
H16	リスの小道オープン
H17	年間パスポート発売、動物サポーター制度運用開始
H18	指定管理者制度開始
H19	ドリームナイト・アット・ザ・ズー開始 入園者累計300万人達成 (H20.1.6)
H20	
H21	チンパンジー双子誕生
H22	ハシビロコウ・フチハイエナ展示開始 ピクニック広場に遊具新設
H23	開園20周年 科学館リニューアル
H24	公益財団法人へ移行
H25	博物館相当施設に指定
H26	入園者累計400万人達成 (H26.11.13)
H27	
H28	
H29	秋篠宮殿下(日動水総裁)ご視察
H30	
R1	21年ぶりに来園者19万人越え
R2	新型コロナウイルスの影響 入園者累計500万人達成 (R2.12.15)
R3	開園30周年 ヤブイヌ展示開始、ピクニック広場にちびっこ噴水整備



年間最大
281,665人

年間最小
131,420人



トリップアドバイザー社
「人気の動物園・水族館ランキング」
1位(R1.R2)

野市総合公園の県の施設整備に係る事業費の推移 (H21以降)



背景

- 開設から20年以上が経過し、公園施設の老朽化が進行するなか、厳しい財政状況のもとで、利用者の安全・安心を確保しつつ、重点的・効率的な維持管理やライフサイクルコストを意識した更新投資を行っていくため、令和元年度に長寿命化計画を策定した。

計画の概要

- 計画期間 令和2年度～令和11年度（10カ年）
- 計画対象となる公園施設

園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設
12	0	126	4	0	170	41

管理施設	災害応急対策施設	その他	合計
452	0	9	814

※このうち、遊具等、施設の劣化や損傷の進行を未然に防止し長持ちさせることを目的に、計画的な補修・修繕を行いながら管理する279施設について、健全度調査を実施（予防保全型管理）

	健全度判定				備考
	A	B	C	D	
a. 一般施設（1）	0	0	1	0	
c. 土木構造物（30）	2	20	8	0	
d. 建築物（244）	5	191	48	0	
b. 遊具等（4）	3	0	1	0	

- A：全体的に健全である。緊急の補修の必要は無いため、日常の維持保全で管理するもの。
- B：全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。緊急の補修の必要性はないが、維持保全の中で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。
- C：全体的に劣化が進行している。現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、若しくは更新が必要なもの。
- D：全体的に顕著な劣化である重大な事故につながる恐れがあり、公園施設の利用禁止あるいは、緊急な補修、もしくは更新が必要とされるもの。

点検結果の例

整備区分	c			
	動物	動物	基幹B	基幹B
分類	動物飼育施設 (獣舎・展示場)	動物飼育施設 (獣舎・展示場)	動物飼育に関わる基幹設備 (獣舎空調設備等)	動物飼育に関わる基幹設備 (獣舎空調設備等)
施設全景				
公園施設位置図 図面名	教養施設	教養施設	教養施設	教養施設
具体的施設名称	アシカ舎(獣舎)	ビーバー・カピバラ舎 (獣舎)	カワウソ舎(給排水設備)	ペンギン舎(給排水設備)
経過年数	28年	28年	28年	28年
緊急度	高	高	高	高
劣化状況	門扉、弱電盤、排煙設備の腐食等	天井材の剥がれ、鉄部の腐食、断面欠損等	機器は設置後28年を経過しており老朽化が進行。屋外・屋内プールを同じ機器で濾過・冷却しているため、温度差による機器にかかる負担が大きい	

整備区分	b			
	基幹A	基幹A	基幹A	基幹A
分類	施設運営に関わる基幹設備 (地下埋設配管等)	施設運営に関わる基幹設備 (地下埋設配管等)	施設運営に関わる基幹設備 (地下埋設配管等)	施設運営に関わる基幹設備 (地下埋設配管等)
施設全景				
公園施設位置図 図面名	その他施設	その他施設	その他施設	その他施設
具体的施設名称	高圧開閉器	第1変電設備	第2変電設備	第3変電設備
経過年数	28年	28年	28年	28年
緊急度	高	高	高	高
劣化状況	園外から園内に引かれる電気高圧線が初めに接続される高圧開閉器が、平成3年の開園以来更新されていない	保守点検により、絶縁油の交換が必要との指摘あり。	保守点検により、絶縁油の交換が必要との指摘あり。	保守点検により、絶縁油の交換が必要との指摘あり。

課題

- 獣舎の改修を行う場合、展示・飼育動物を仮獣舎に移したうえでローテーションしながら計画的に実施する必要がある。
- 獣舎の整備は国の交付金事業が活用できず県単独事業での対応となるため、十分な事業費の確保が課題である。
- 改修と修繕のバランスをとりつつ、基本理念に基づく次の30年に向けた新規整備を実施していく必要がある。